

平成23年度（公益財団法人移行後第1期）事業計画

平成23年7月1日付けで公益法人に移行し、公益財団法人損保ジャパン環境財団としての初の事業年度（9ヶ月間）となりますが、旧法人の平成23年度事業計画を引き継ぎ、その達成を目的とすることといたします。

平成23年度（公益財団法人移行後第1期）事業計画および収支予算は、次の通りです。

なお、資金調達および設備投資の見込みはありません。

1. 環境保全活動に活躍する人材の育成支援（事業予算計2,332万円）

(1) 損保ジャパンCSOラーニング制度（予算1,760万円）

派遣団体数を41団体とし、運営にあたっては教育的視点を強化し、「自ら考え行動のできる、思考力と実行力を備えたラーニング生」の育成を目指します。具体的には派遣先団体との連携強化、損保ジャパン社員との連携による多面的な支援体制の構築等を行う予定です。

(2) CSOによる人材育成事業等への助成（予算100万円）

CSOが主催する人材育成事業等に対して助成します。

2. 環境保全に関する情報の収集及び提供並びに啓発普及

（事業予算計1,513万円）

(1) 「市民のための環境公開講座」（予算1,000万円）

19年目を迎える平成23年度は、通年講座を基本として残しつつ、特別講座として新たに、「女性」や「学生」層の受講者を拡大するための講座や、対話型・体験型の形式で多様なニーズに応える「プレミアムセミナー」、「自然体験講座」を開催します。このリニューアルにより、新しい受講者に数多く参加いただき、多様な講義スタイルを提供することで参加者の満足度の向上を目指します。

通年講座のテーマは「①森と水 生命の源」、「②大地・海・宇宙 自然の驚異」、「③『環境』の20年 リオ+20の節目を前に」を予定し、各パート3回、合計9回開催します。

また、特別講座は、「おとなのソトあそび～食べる自然体験～」、「環境のしごとに就いて」、「今からはじめるネイチャーフォト体験」、「鎮守の森を歩いてみよう」の4つを開催し、通年講座とは違ったターゲット別もしくは体験型の運営で、魅力ある講座を目指します。

(2) 各種シンポジウム・研究会への協賛（予算100万円）

環境問題の普及・啓発に関し実施する各種シンポジウム・研究会への協賛を行います。

3. 環境保全のための活動に従事する団体及び個人に対する助成

（事業予算計470万円）

(1) 環境保全プロジェクト助成（予算350万円）

環境保全活動に現場で取り組むNPO等の団体を対象として公募し、

1 団体の助成金の上限は30万円です。多くの団体からの応募を促し、より優れた環境保全活動を支援します。

(株) 損害保険ジャパンの支店とともに助成先へのヒアリングを兼ねた贈呈式を行ってまいります。

4. 環境保全に係わる学術研究に対する助成 (事業予算計608万円)

(1) 学術研究助成 (予算180万円)

公募とし、人文・社会科学系の観点から環境問題に係わる若手研究者に、博士号取得論文作成のための費用(1研究者30万円を上限)を助成します。

(2) 企業と環境問題研究会 (予算310万円)

新たな研究テーマを「気候変動への『適応』～主として自然災害リスクへの対応～」とします。研究期間は3年程度としますが、研究成果を適宜情報発信してまいります。